



2012. 5. 31

### 会員の活動

この時期、各地の科学館では盛んにサケ稚魚やヤマメ稚魚の体験放流が行われております。特に大型連休中は多くの家族連れで賑わったようです。下の写真1は千歳サケのふるさと館、写真2は標津サーモン科学館、写真3は札幌市豊平川さけ科学館の放流風景です。豊平川では放流体験より濁流の迫力に歓声が上がっていました。北海道サーモン協会の会員も老体に鞭打ってお手伝いしましたが、あまり役には立っていないようです(写真3、ピンクのジャケットにカッパを纏った叔父さん達)。



少し情報は古くなりますが、大雪と石狩の自然を守る会が創立40周年を迎えたのを機に「特集 創立40周年 大雪山と石狩川と」と題した「カムイミントラ 31号」を発行しました。この冊子は70頁に及ぶ重厚なもので、会員の皆様の熱き思いと会の歴史が綴られております。永く地道な活動に心から敬意を表します。

### さけます関連情報

- ・ サケ資源の回復に期待！北海道は秋サケの不漁原因を探るべく「秋サケ資源対策会議」を設け、大学等と情報交換を図り、8月末をめどに対策を纏めるそうです。また、釧路管内では回帰率向上を目指して稚魚の海中飼育が行われています。
- ・ 市場のサケがより新鮮に！道総研工業試験場はサケの鮮度を保つための自動血抜き処理装置を開発し、実用化の目処を立てたようです。
- ・ トキサケ、ロシア産ベニザケの季節到来！5月上旬、180トンの中型船がロシア200海里水域内のサケ・マス漁に向かいました。
- ・ 9千万年前にタイムトラベル！上川管内中川町でニシンに似た「アプソベリックス」属の新種の化石が展示されています。「ナカガワニシン」と命名されました。

(B)